

(様式3)

農業研究成果情報

No. 799 (平成29年5月) 分類コード 02-04 熊本県農林水産部

準高冷地におけるイチゴ「ゆうべに」の鉢受け適期

準高冷地での「ゆうべに」栽培における鉢受け適期は6月末までである。6月末までの鉢受け苗は、地上部および地下部の生育が優れ、第一次腋花房の出蕾および開花がやや早い。総可販果収量は7月前半の鉢受け苗までは同程度であるが、年内および1~2月の可販果収量は6月末までの鉢受け苗が多い。

農業研究センター高原農業研究所 (担当者: 宮本哲郎)

研究のねらい

本県で育成した「ゆうべに (品種名: 熊本 VS03)」は収量性が高い品種である。準高冷地においてその特性を十分に発揮するためには、気温の低さ等の平坦地と異なる気象条件に適した栽培管理技術を確立することが必要である。ここでは、準高冷地における鉢受けの適期を明らかにする。

研究の成果

1. 5月20日から7月15日までに鉢受けすることで、クラウン径が12 mm程度となる。また、根長および根乾燥重は、5月20日から6月15日までに鉢受けした苗では同程度であるが、その後は鉢受けが遅くなるほど小さくなる (図1、図2、表1)。
2. 7月16日から7月29日までに鉢受けした苗は、頂花房の花芽分化のばらつきが大きい。7月30日から8月13日までに鉢受けした苗は、頂花房の花芽分化、出蕾および開花が遅れる (表2、表3)。
3. 6月4日から7月1日までに鉢受けした苗は、頂花房の花数が多く、第一次腋花房の出蕾および開花がやや早い傾向がある (表3)。
4. 6月4日から7月15日までに鉢受けした苗では、総可販果収量は同程度であるが、年内および1~2月の可販果収量は、6月4日から7月1日までに鉢受けした苗が多い (図3)。

普及上の留意点

1. 早期に子苗が確保できるよう、10 aあたり約700株の親株を用意する。

【具体的データ】



図 1 地上部生育 (H28)

(注)8月1日~8月15日鉢受け苗は7.5 cm ポットで育苗し、そのほかは9 cm ポットで育苗した。



図 2 地下部生育 (H28)

表 1 定植時生育 (H28)

鉢受け時期	草高 (cm)	草丈 (cm)	クラウン径 (mm)	展開第3葉				根長 (cm)	根乾燥重 (g)
				葉長 (cm)	葉幅 (cm)	葉柄長 (cm)	葉色 (SPAD)		
5/20~5/31	16.6	20.1	12.1	8.2	6.4	8.6	30.5	51.5	7.8
6/1~6/15	16.7	20.2	12.2	8.3	6.4	9.1	29.9	50.6	7.6
6/16~6/30	15.5	19.0	12.3	8.0	5.9	8.3	28.1	40.4	4.6
7/1~7/15	14.5	17.0	11.7	7.6	5.7	7.5	32.2	31.7	2.1
7/16~7/31	11.1	13.2	8.4	5.6	4.2	6.2	29.0	26.0	1.1
8/1~8/15	10.2	12.4	6.8	4.5	3.5	6.0	28.0	20.9	0.3

(注) 定植は9月10日に行った。

表 2 頂花房の花芽分化推移 (H27)

鉢受け時期	調査日			
	8/29	9/1	9/4	9/7
5/21~6/3	××	②①①①×	⑥⑤⑤④②	⑥⑥⑥⑤③
6/4~6/17	××	①①①××	⑤⑤④②②	⑥⑥⑤⑤④
6/18~7/1	××	③②①①①	④④④③②	⑥⑥⑥⑤④
7/2~7/15	①××	③③②①×	④③②①①	⑥⑥⑥⑤④
7/16~7/29	③②①××	④④①①①	⑤③③①①	⑥⑤④③①
7/30~8/13	××	①①①①×	③③②②①	④③③③②

(注 1) ×未分化期、①肥厚初期、②肥厚中期、③肥厚後期、④二分期、⑤二分期後期、⑥萼片形成期

(注 2) 追肥は7月30日~8月13日鉢受け苗では行わず、そのほかは最終追肥を8月5日に行った。

表 3 開花特性 (H27)

鉢受け時期	頂花房			第一次腋花房	
	出蕾日 (月/日)	開花日 (月/日)	花数 (花/株)	出蕾日 (月/日)	開花日 (月/日)
6/4~6/17	10/5	10/22	17.6	11/15	12/4
6/18~7/1	10/5	10/21	18.2	11/15	12/1
7/2~7/15	10/5	10/21	15.9	11/17	12/6
7/16~7/29	10/4	10/20	15.8	11/19	12/8
7/30~8/13	10/8	10/24	12.5	11/18	12/8

(注) 土耕栽培を行った。

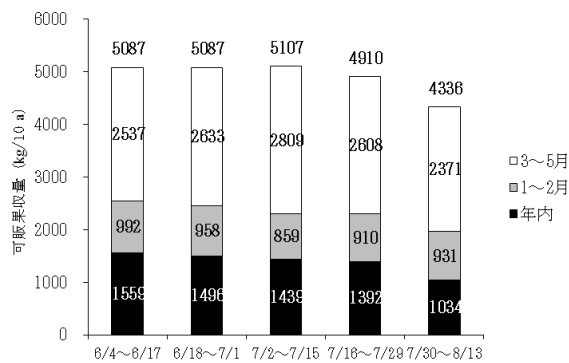


図 3 可販果収量 (H27)

